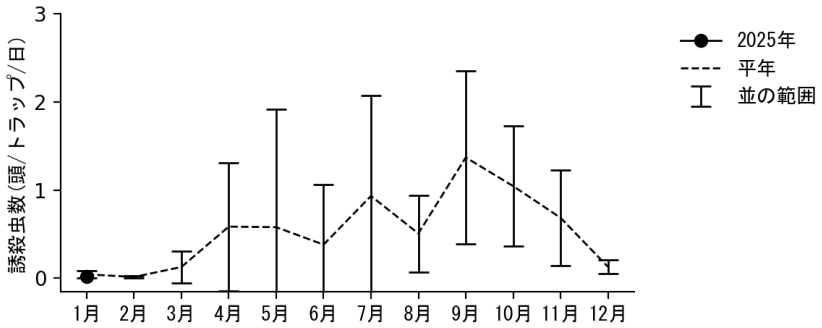
令和　6 年度　　2 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ			
調査結果	1 月の発生量（平年比）	並		
予　報	1 月からの増減傾向	→		
	2 月の発生量（平年比）	やや少		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

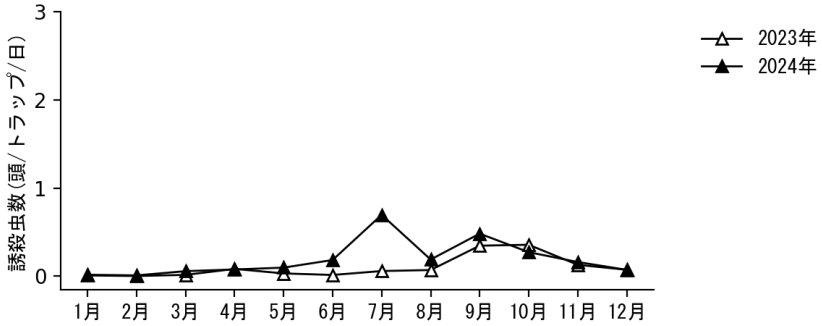
調査結果

トラップ当たり誘殺虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率60.0%（平年：74.0%）

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。
・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

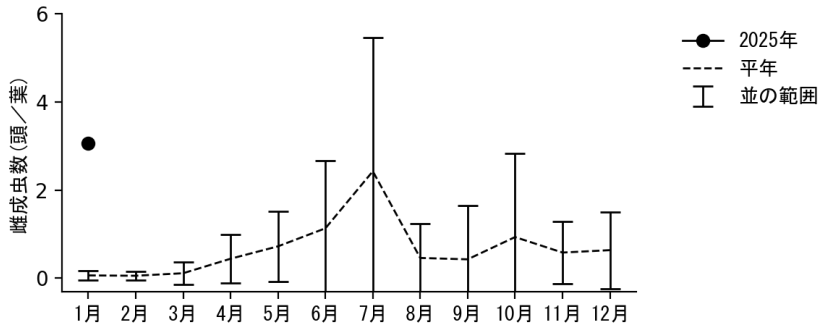
令和　6 年度　　2 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	① ハダニ類		シュレイツメハダニ	
調査結果	1 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	1 月からの増減傾向	→		
	2 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

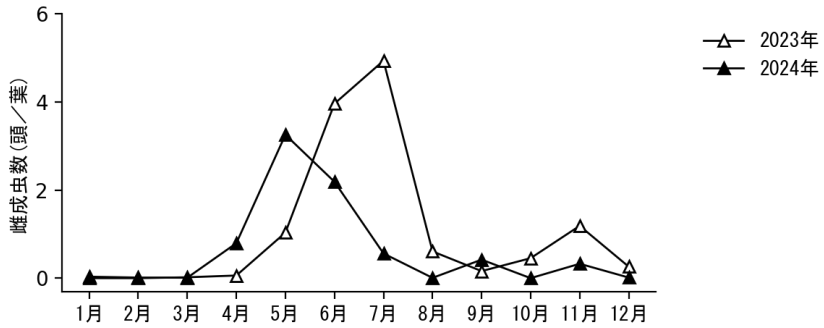
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：シュレイツメハダニ

・発生施設率20.0%（平年：24.0%）　一部施設で多発

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・冬季はマシン油乳剤による防除が効果的である。本薬剤は天敵に影響が少なく、天敵を保護しながらの防除が期待できる。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ